シルバー人材をしず、

入会のしおり

地域社会の担い手を求めています



○ 定年は人生の大きな転機です

長い間お疲れ様でした

いま、あなたは、毎日をどのように過ごしておられますか。

退職後も生きがいをもって地域の活動に参加してみませんか?



次のような思いをお持ちの方…

- ・まだまだ現役で頑張る。働けるうちは働く、 生涯現役だ。
- ・時間も体力もある。自分らしく生き生きと、 活動したい。
- ・就労? ボランティア? 生涯学習活動? 何か始めたいが具体的に決まらない。
- ・やりたいことはあるが、一歩踏み出せない。

● 高齢者のための就業システムです

シルバー人材センターは 世界が注目している制度です

(The Silver Human Resources Center)

シルバー人材センターは、世界に例がない高齢者の ための就業システムです。

高齢者の就業システムは 3つのタイプがあります

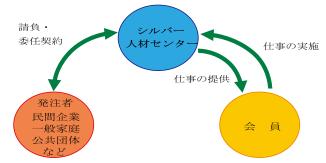
センターは、高齢者にふさわしい仕事を、民間企業・一般家庭・公共団体など(発注者といいます)から、請負、委任の形で引き受け会員に提供する場合と、労働者派遣の形で引き受け、会員が派遣により就業する場合(シルバー派遣といいます)、または、会員や地域の高齢者が発注者に雇用され、発注者の雇用労働者として就業する場合(職業紹介事業といいます)があります。

請負・委任の形で引き受けた仕事に就業する会員に は、仕事が完了すれば報酬(配分金といいます)を支払 います。発注者に対しては、センターが完成の責任を負 っています。

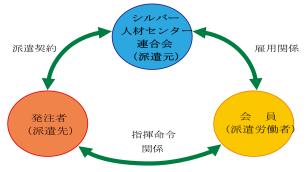
シルバー派遣事業として雇用され派遣先で就業する派遣会員には、就業した時間に応じた賃金を支払います。

職業紹介により発注者に雇用された会員等には、雇用 先から就業した時間に応じた賃金が直接支払われます。

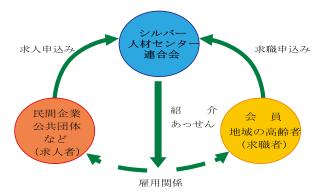
○ 請負・委任による就業



○ シルバー派遣による就業



○ 職業紹介による就業



シルバー人材センターが目指すもの

「自主・自立、共働・共助」がシルバー人材センターの理念であり、目指す理想です。

センターは、共に働き共に助け合うことによって社会に参加し、そこに喜びや生きがいを見いだ そうとする地域の高齢者が集まって組織し、自主 的に運営する団体です。

就業にあたっては、すべての会員が公平な就業 機会を得られるようワークシェアリング、ローテ ーションにより就業しています。

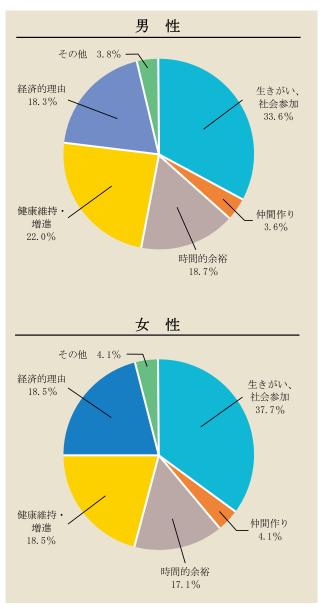
会員として就業するメリット

- ① 就業を通じて、生きがい、社会参加ができる。
- ② 一緒に仕事をすることにより、仲間づくりが できる。
- ③ 能力に応じた就業により、健康の維持・増進が図られる。
- ④ 就業により、配分金、賃金が得られ経済的に助かる。
- ⑤ 就業により、地域社会の活性化に貢献できる。



平成30年度センター新入会員の入会動機

※入会動機については、「生きがい、社会参加」「健康維持・増進」で男性 55.6%、女性 56.2%と半数を超えている。一方、「経済的理由」は共に 20%以下となっています。



シルバー人材センターは公益法人です

シルバー人材センターは公益法人であり、営利 目的とする団体でないことはもちろん、それ以上 に高齢社会を支える大きな役割を果たしている公 共的・公益的性格を有する団体です。

さらに、センターは、法律によって位置づけられており、国、都道府県及び市区町村からセンターの運営費が補助されています。

●シルバー人材センターの組織

地域の高齢者で組織された自主 的な団体です

センターは、その趣旨に賛同した地域の高齢者 が集まってつくった自主的な団体です。役所やそ の出先機関ではありません。

ですからセンターの運営に当たって一番大切なことは、会員の自主性や自発性が尊重されることです。つまり、組織運営や事業運営はできる限り会員が自らの創意と工夫によって行うことです。

センターは社団法人であり、会員は社団法人を 構成する組織の一員です。運営の責任は会員自ら が負うのだという自覚が必要です。

会員の自主的活動をたかめる ための組織

センターおよび会員の組織は、個々の会員の意識を事業運営に反映させ、会員の自主的活動や参加意識を促すためにつくられています。そして、 当然のことながら理事などの役員は会員から選ばれています。

センターの組織構成図 (例)

(会員の皆さんで構成)



会員になるためには

おおむね 60 歳以上の元気な高齢者

センターの会員は、おおむね 60 歳以上の健康 な高齢者で、センターで就業しようとする意欲が あれば、どなたでも入会できます。 入会の手続きは、入会申込書に写真を添えて地 元のセンターに提出し、理事会の承認を得て会員 になれます。その際に所定の会費を納めていただ くことになります。

● シルバー人材センターの会員は全国各地で元気に働いています。

71万人の会員が3,185億円の仕事をしています

(平成 30 年度シルバー人材センター事業統計より)

○会員数: 男性 475, 120 人/女性 238,520 人/合計 713,640 人

○契約金額:318,511百万円



● シルバー人材センターの活動に積極的に参加しよう

いろいろな独自事業が行われています

独自事業は会員の就業機会を増し確保するため 請負・委任では受注が難しい分野の仕事を、 センターの自主事業として会員の創意工夫によ り、企画実施するもので、現在多くのセンターで いろいろな仕事に取り組んでいます。

講習会で経験や就業希望職種を サポート

センターにはいろいろな仕事があります。未経験の仕事にチャレンジされる会員や経験が浅いことから躊躇される会員のために、各種の講習を実施しています。



▲ 講習会(会員向けパソコン講習)

ボランティア活動への参加

センターでは、会員の充実感や地域貢献のため、ボランティア活動を積極的に企画し、会員に参加を呼び掛け実施しています。 また、「登下校時の見守り」などの無償ボランティアだけでなく、ワンコイン・サービス」など有償ボランティアも実施しています。

地域班などの組織活動に 積極的に取り組もう

多くのセンターでは、会員の自主的活動を促すめために、社団法人としての組織のほかに、地域班や職群班などの会員の組織がつくられています。 これらの組織活動の担い手になるとともに、センターが主催して行う諸行事にも積極的に参加しましょう。

仲間づくり 文化サークル活動も

センターでは、単に働くだけでなく、いろいろな趣味をもとにしたサークル活動や旅行なども活発に行われています。

これらに参加して、仲間づくりをしたり、生活を楽しみましょう。



▲ ヨガ教室



▲ 傾聴ボランティア

● 安全就業はすべてに優先します

定められた基準や規約守っ て安全に就業しよう

会員となり就業をしても、けがをしたり事故を起こしては何もなりません。そこで、就業中の傷害事故を防止し、安全就業を確保するため、「安全・適正就業委員会」などの組織を設け、会員の安全就業を専門的に担当する「安全・適正就業推進員」を配置するとともに、作業の種類別に安全就業基準などを定め、安全就業対策に取り組んでいます。

なによりも、会員一人ひとりが安全就業を常に 意識し、安全基準等のルールを守ることが大切で す。

会員の傷害事故はシルバー保険でカ バーされています

請負、委任の就業は、労災保険が適用されない のでセンターは会員を被保険者として団体傷害 保険に加入しています。

シルバー保険と呼んでいますが、就業中の災害だけでなく、現場への行き帰りの事故について も保険給付が行われます。

また、物損事故についても賠償責任保険に加入しています。

みんなで守ろう 10 ヶ条 (安全就業の心得)

- ① 日頃から<mark>健康管理</mark>に努め、常に健康な状態で 就業しましょう。
- ② 仕事の前日は十分に睡眠を取りましょう。
- ③ 服装・履物・保護具はそれぞれの作業に適し たものを着用しましょう。
- ④ 仕事を始める前には準備運動をしましょう。
- ⑤ 保護具や器具類は使用する前に必ず<u>点検</u>しましょう。
- ⑥ 加齢による**身体の機能低下**を十分に認識し、 無理をしないようにしましょう。
- ⑦ 仕事をするときは急いだり、あわてたりせず、 安全第一を心がけましょう。
- ⑧ 就業の場は常に整理整頓を心がけましょう。
- ⑨ 共同で仕事をするときは合図・連絡を正確に 行いましょう。
- ⑩ 行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしましょう。



地域貢献

シルバー人材センターは、地方公共団体と連携し、 地域住民の生活をサポートしています。

地域再生

シルバー人材センターは、さまざまな活動を通して 地域再生にも大きく貢献します。

高齢者の生きがいづくり シルバー人材センターは、就業や社会参加活動を通して 高齢者の健康で生きがいのある

公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協

生活作りをサポートします。